

ヨシイちゃんの一ひりごと

伸び縮み

の幼虫



「尺取り虫」は、体の前後の端にしか足が有りません。それ

「尺取り虫」は、体の前後の端にしか足が有りません。それ

「尺取り虫」は、体の前後の端にしか足が有りません。それ

「月とすっぽん」どころか「月と蟻」で人

間は太陽が有ればこの原因をつくっていな

「きつい日差し」と責任転嫁し、あたかも太陽の所為と不

満げに言ってしまう。現生人類の祖先は、約16万

年前(14万年、29万年前)にアフリカで生まれたらしい

アローイ 六・金沢ひろあ

「伸び始め」日本には3、4万年前に来たとか。火を使い

野を耕し狩りをして「知恵」を蓄え現代まで伸びてきたの

たのは、新自由主義が経済発人家族。姉は小学校に通って

展を最優先し、それを妨げる規制を外し(トーナメント)競争

人類は、トーナメントで先輩の動植物、川や海、地下資源

も我ものしたと勝利で酔っています。が所詮天地自然の枠

心筋梗塞：日本男性の、せつかちは危険が低い

厚生省研究班が男女計約8万6000人を「せつかち、怒りつ

ばい、競争心が強い、積極的という行動傾向はタイプA」と、

京都&東山 ぶらりピカリ

10

映画 女の園

監督・木下恵介



借より鑑賞映画さーぶ
子恵岸・秀子・三枝子・久我美

一位「二十四の瞳」・木下恵介脚色監督 二位「女の園」・三位「七人の侍」・黒澤明監督 これは1954年度昭29・キネマ旬報年間優秀作品の順位である。

一位の二十四の瞳は小豆島を舞台にした名作。二位の七人の侍は三船敏郎、志村喬などが出演し「荒野の七人」の題名で1960年西部劇としてリメイクされた作品で今も多くの人が知る名画である。

二位の「女の園」は「二十

四の瞳」と同じく木下恵介監督。更に高峰秀子、岸恵子、高峰三枝子、久我美子、田村高広など当時最高の超豪華メンバーが出演しているにもかかわらず知る人が少ない。

この映画は『群像』（講談社）昭和28年（1953）8月号発表の短編小説「人工庭園」が原作。これは京都女子大で起こった事件を毛

今から50年前のことです。関西五大私鉄では、特徴ある性能をもつ新造電車にニックネームを付けました。近鉄はラビットカー、阪神はジェットカー、南海はズームカー、阪急はオートカー、京阪はスーパーカーでした。それぞれに線路条件や運転目的に合せ、現在の電車の基本となるものでした。この中에서도注目されたのがスーパーカーでした。

京阪七条交差点をめくって

(13) スーパーカーはエコ電車



【写真説明】2000形はヘッドライトが額に2ヶあり、車体の下部がふくれています。そのふくれのため詰め込み型と酷評する人もありました。

スーパーには、最高、超とか飛び切りの意味を持ちます。京阪スーパーカー2000形は電力回生装置を持つ電車です。

知る人は少ないが、私が歌える映画主題歌一つだ。当時、久我美子ファンでもあって映画も2度は観た。戦後の混乱が少し治まりかけた時代、まだ女性の地位は低く、そのため女子学生の寮生活も厳しい戒律あつた時代。この映画は「学園の民主化」を進め、日本の学生運動の起爆剤のような位置を占めたと思つた。



集西の仕事を始め、京都女子学園の学生生活や関係

デルに関係者の話を取材して書いたもの」と著者阿部知二は書いている。その頃、映画好きで地域で政治運動にも係つていた編集者は、これを舞台劇とした京大の劇団「風波」（大島渚氏・戸浦六宏氏）の上演場所設定や京都女子大学生寮などに「風波の舞台鑑劇」の参加を呼びかけるピラを配つたりした。

古き都に咲きし
花の命は
祇王の夢ならずや
常磐ならずや
さらば吹けよ
みね吹く風よ
吹きて悲しみの
歴史をかえん
これは、その映画の主題歌。

あるが、京都女子学園が「心の学園」と標榜されていることも坂の名の「心」である。商店街・学園共々更に良い環境にと努めたい。

あるが、京都女子学園が「心の学園」と標榜されていることも坂の名の「心」である。商店街・学園共々更に良い環境にと努めたい。

第5回駅伝ライブ
11月9日(日)
午後1時30分～夜8時
14ユニット協力
連続ライブ
参加費500円

今度もこの募金活動に参加する為に、5回目の駅伝ライブを企画しました。これまでと同様、ジャズ、フォーク、ポップスなどいろいろなジャンルのミュージシャンが14ユニット以上参加します。音楽を楽しみながら、子どもたちの未来の為に協力をお願いします。

「読み方」
女一人：美しいと読む。
女二人：五月蠅い（うるさい）と読む。
女三人：厚かましいと読む。
女四人：傍若無人（ぼうじやくぶじん）と読む。
ある男性から見た女性観だろう。が、「とんからりん」読者の女性陣から一人：以外には、異議あり発言があると思つた。デモ、堅いことなしで・
男一人：逞しい（たくましい）に続く男二人から四人までの女性から見た「読み方」を考え出来たら教えて！
（注）kanpaiさんのブログ2008.08.21 Tn をケメコ通信で見てもこれを書いた。私の「読み方」ではない。

酒屋で生きて 生かされて

第三十一話

店増築とお酒の共和国(二) 信じ過ぎてはいけない

現場に復帰して早々前年9月決算を完了し修正申告をしなければなりません。先ず、前期決算をしました。改装で捨てた資産も多く予想とおりの赤字決算でした。

既に社名を「お酒の共和国」と代えた機会にお得意先に了解を得て業務用の販売を辞め友人達と共同で運営している「西陣屋」(酒飯店)と「酒座・陣」(飲食店)「ラーメ

ン三五一五」と将来合併を目指す「お酒の共和国」の仕組みつくりに進んでいました。平成7年4月(1995)「まいど！」を創刊しました。(平成

9年5月「とんからりん」に改名) 丁度「地ビール」の会社が続々できるときで有志と共に「京都ビール株式会社」を設立、計画を立て同時進行で動き出しました。

仕事も表向きは順調でした。8年度の決算をして11月にでた数字に驚きました。私の計算では赤字になる筈なのに、前年に続いて多額の赤字です。想定していた赤字額と実決算の赤字との差は、2千万近い額です。建物の借財の上に、

他の事業の保証債務も多額あり愕然としました。会社はそれまででは単年度の赤字は有りましたが、二期連続はありませぬ。

手術後で体力気力が落ちていた時ですが、三年連続して赤字を出せば「会社」は潰れると悲観し、何処かで計算ミスがないか、会社運営の問題点を会計士先生と二年さかのぼって精査しました。問題点が解かりました。本事業業は順調でしたがそれ以外のところで大きな「穴」が空いていました。

その中で一番大きい「お酒の共和国運動」断念し処理、仲間に協力を求めましたが反応は少なく、自己責任で処理

するしか有りませんでした。

20才の個人事業酒谷本店整理。26才株式会社酒谷本店の合併。41才酒小売開始と崖っぷちを乗り越えてきました。危機はいつも土壇場で救われました。「倒されて良いが、倒してはいけない」「迷惑は掛けられても良いが、掛けてはいけない」と言い続けた祖母が護ってくれているのでしょか。そして一連の処理の中で「信じても良いが、信じ過ぎてはいけない」と学びました。授業料は超高額でした。が無駄にはならないでしょう。【注】京都ビール株式会社は、後「GBSシステム」の社名に替え「アチヨボ」を運営し、同店閉店で消滅いたしました。

お酒の四方山話 合い酒(アイシユ)

今、日本酒は質的に史上最高だが、前の戦争中戦後酒をアルコールや糖蜜で量を増やす「三倍醸造」で需要に応じる時期が長く続いた。米は厳しい政府管理下にあり、需要は有っても酒そのものが造れず足りない時代が続きました。

当時の新酒は精白もおさええ熟成不足でお爛すると「泡」が出て刺激臭(粕臭)を感じるものが多く評判が悪い。小売店は「新酒は嫌だ」と言われ。年末年始は最需要期

海外日本酒事情

8月号で海外で日本酒が良く飲まれていと書きました。財務省関税局平成19年11月分の酒類輸出入数量によると、日本酒輸出数量は1168klで14.2%と輸出が好調に伸びている。

その主な国別清酒輸出数量と前年対比は、
アメリカ力 337kl (0.6%減) 台湾 255kl (36.5%増) 韓国 138kl (20.5%増)
香港 115kl (33.4%増) イギリス 51kl (37.5%増) です。

今年、イタリア・フランス・ブラジル・中国にも輸出され更に拡大するだろう。記事・醸界タイムス参考

編集後記

小さい時から「あくしよな癖の「へんねし」が出て「とんからりん」108号でヤメやと「スネテ」見ました。が、會員様のお声のおだてにてつて続けます。「ご愛読を！」。創刊は平成7年(1995)4月「お酒の共和国(グループ)」全体の新聞「まいど」名で隔月発行のスタートをしました。グループ解散で当社が引継ぎ15年たちました。

1996年大東京のど真ん中の豊島区で「親子の餓死」で名前を「とんからりん」に代えました。詳細はネット検索「豊島区 とんからりん」で見られます。その時代より更に「格差」は

拡がり、9月15日の「敬老の日」が第3月曜日の変動性になり忘れられ易くなって「紫の座布団」は話題にもなりません。それどころか、後期高齢者という高い「柵」に上げてもらい、いつ落ちヒンかど気にするご老人が増えていきます。若い気でいても編集者も来年棚上仲間入り「ボヤキ漫才」でもいたら、テレビでボヤイてくれるでしょうが、今の漫才師はナツチヨラン!!。極小「とんからりん」で「しとやかにボヤク」のがボケ防止やと思いつながら続けます。けど反応が余りなく寂しくパソコンを友にしています。「ツツ」待ってマッセ!